

今週の内容

- ・ 感染症流行状況
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 全数把握感染症発生状況
- ・ トピックス
性感染症の患者報告数について
- ・ 五類定点把握感染症報告数
(保健所別、年齢別)

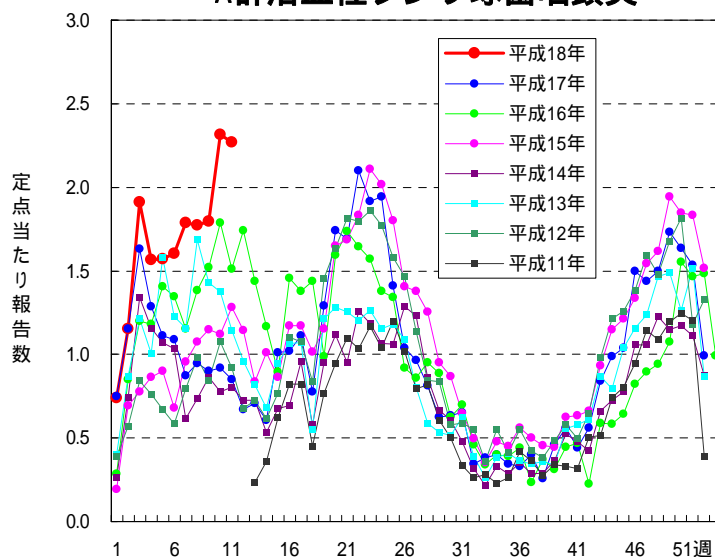
感染症流行状況

注意する感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の1定点当たり報告数は2.27人と、前週(2.31人)に引続いて高い報告数で推移しています。

今後も、報告数の多い状態がしばらく続くことが予想されますので、衛生管理の基本であるうがいや手洗いなどを心がけて感染を防ぎましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

愛知県感染症情報センター (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

インフルエンザウイルス分離状況 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/0506infbunri.html>)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

国立感染症研究所感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

水痘、ムンプスやや目立ちます。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
病原性大腸菌O126 6歳男
水痘が流行しています。
マイコプラズマ肺炎、インフルエンザも
流行中
【一宮市 城後小児科】
この一週間でインフルエンザ(+)9人
A型6人 B型3人
【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザ、感染性胃腸炎ともに終
息しつつあります。
【一宮市 医療法人かすがい内科】
犬山の東の方にインフルエンザの流行
が残っている様です(A型です)。
アデノウイルス様の扁桃炎と溶連菌が
混在しています。
【犬山市 武内医院】

インフルエンザA型8例のみ。
(2月から3月にかけてのインフルエンザA型
は全てH1N1でした。)
溶連菌感染症増えてきました。
伝染性紅斑散発しています。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
インフルエンザ5名と非常に少なくな
りました。
感染性胃腸炎と溶連菌感染症やや多く見
られています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
26歳女 マイコプラズマ肺炎
インフルエンザ激減しました。
1歳女 ロタウイルス(+)
【西春町 丹羽医院】
インフルエンザA型 4名
インフルエンザB型 1名
計5名 減少傾向です。
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

溶連菌感染が流行しています。
感染性胃腸炎も多い(病原大腸菌O26
7歳男)。
A型インフルエンザは殆んどなくなり
ました(4例のみ)。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
インフルエンザ激減しました。流行は終
息したと思われます。
溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症少
し目立ちます。
その他水痘、手足口病 今週も1例あり
ました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科】
7歳女 A型インフルエンザ
【豊明市 豊明団地診療所】
まだ、インフルエンザがでています。
【愛知郡東郷町 ホリバ医院】
インフルエンザA まだ続いています。
【春日井市 春日井市民病院】
8歳男 溶連菌(ストレプト)インフルエ
ンザA(エスプライン)同時に陽性
【春日井市 竹内医院】

A型インフルエンザ 16例
B型インフルエンザ 1例
手足口病続発中
水痘少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
A型インフルエンザまだ小流行中
【小牧市 小牧市民病院】
感染性胃腸炎が多いです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザは減少しました。
アデノウイルス感染、RSウイルス感染が
増加傾向です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
インフルエンザA 2回目1人 計7名
【半田市 医療法人林医院】
A型インフルエンザ 5名
【南知多町 医療法人大岩医院】
A型2回目あり。
【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】
インフルエンザは終息のようです。
溶連菌感染症 はやってきました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA型6名、B型4名
6歳女 アデノウイルス(+)
11歳女 E.coli(O29)+カンピロバク
ター腸炎
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA型2名、B型1名
【豊田市 田中小児科医院】
1歳男 病原大腸菌O18(+)
結膜炎の児が目立ちます。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
2歳女、4歳女、5歳女 アデノ(+)
3歳男 カンピロバクター
【岡崎市 にいのみ小児科】
2歳男 病原大腸菌 O6
A型インフルエンザ 11名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザ計4名 全てA型
ワクチン済み2名
【岡崎市 栗屋医院】
インフルエンザA型 5名
(予防接種済1名)
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

Adeno(+)2人、Rota(+)1人、St
repA(+)1人、FluA(+)6人
【刈谷市 田和小児科医院】
溶連菌感染症が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザ定点(内科)
インフルエンザ検体数92 検出したものは
全てA型
【安城市 安城更生病院】
インフルエンザはありません。
【安城市 鳥居医院】
溶連菌感染症 12名
インフルエンザA 8名
【知立市 宮谷クリニック】
感染性胃腸炎が多いです。
【三好町 三好町民病院】
9歳男 2回目A型インフルエンザ
5歳男 2回目A型インフルエンザ
【西尾市 山岸クリニック】
2歳女 アデノウイルス感染症
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

水痘と流行性耳下腺炎が流行していま
す。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とアデノ
ウイルス咽頭炎が増えてきました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
水痘、ムンプス流行中
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

インフルエンザは先週より半減しました。
4歳女 ヘルペス歯肉口内炎
【豊橋市 医療法人野村小児科】
6歳男 ムンプス髄膜炎1名
【豊川市 豊川市民病院】
5歳児 2月中旬、3月中旬 インフルエン
ザAに罹患
【田原市 かわせ小児科】

一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

発生報告なし

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢1例(推定感染地域:国内、推定感染経路:不明)10週報の再掲
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)

デング熱1例(推定感染地域:インドネシア)
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html#de>)

トピックス

性感染症の患者報告数について

平成 18 年 2 月 15 日、愛知県衛生研究所で開催された平成 17 年度愛知県感染症発生動向調査企画委員会において、性感染症患者報告数に関する諸問題について意見が交わされましたが、この件について同委員会委員（愛知医科大学名誉教授）野口昌良先生から、以下のような原稿をお寄せいただきました。

愛知県感染症情報センターとしても、関係医療機関の協力のもとに、より正確な感染症発生動向調査としていきたいと考えています。

性感染症の現状 急増するクラミジア・トラコマティス感染症

愛知県感染症発生動向調査企画委員
愛知医科大学名誉教授
名古屋公衆医学研究所 野口昌良

はじめに

クラミジア・トラコマティス感染症は 1980 年代に入り非淋菌性尿道炎の 60% 以上の起炎菌となっていることが明らかにされた。そして 1999 年より実施された厚生労働省の班研究の結果、若年女性、とりわけティーンエイジャー - に感染者が多く存在することが判明した(図 1)。

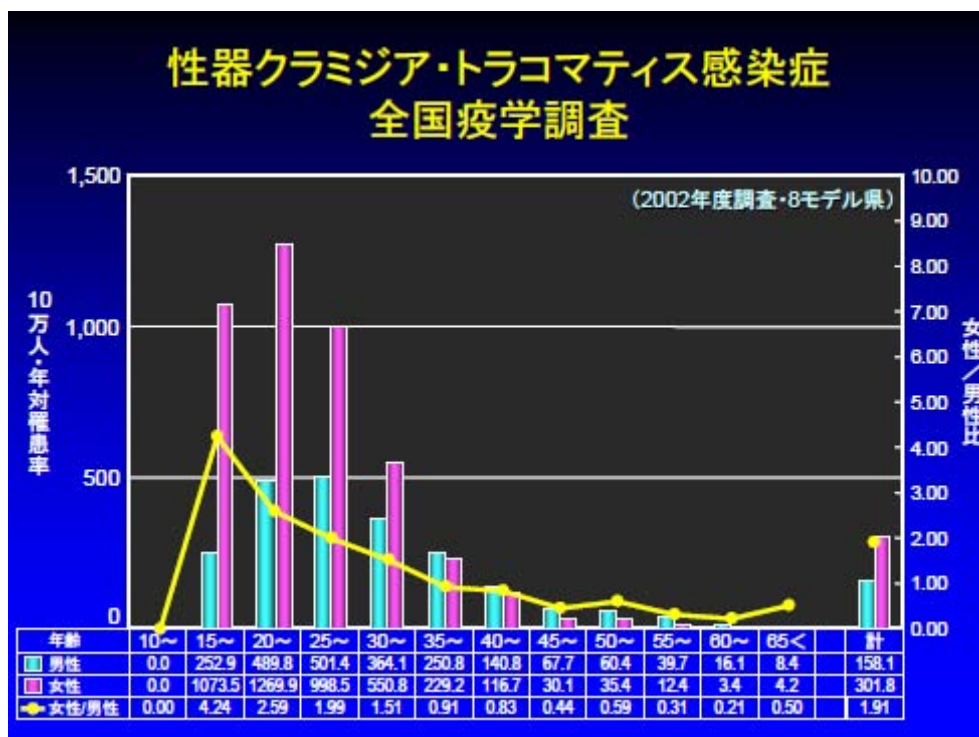


図 1

この感染症の特徴として、初感染時にほとんどの場合自覚症状がないため治療の機会がなくそのまま放置されることになる。その結果パートナーが多い若年者においては、ますます、感染を広げることになる。しかも無治療で放置されれば、女性の腹腔内では感染状態が長く続くことになり、子宮周辺での癒着が起きて卵管性不妊症の原因になる（図2）。

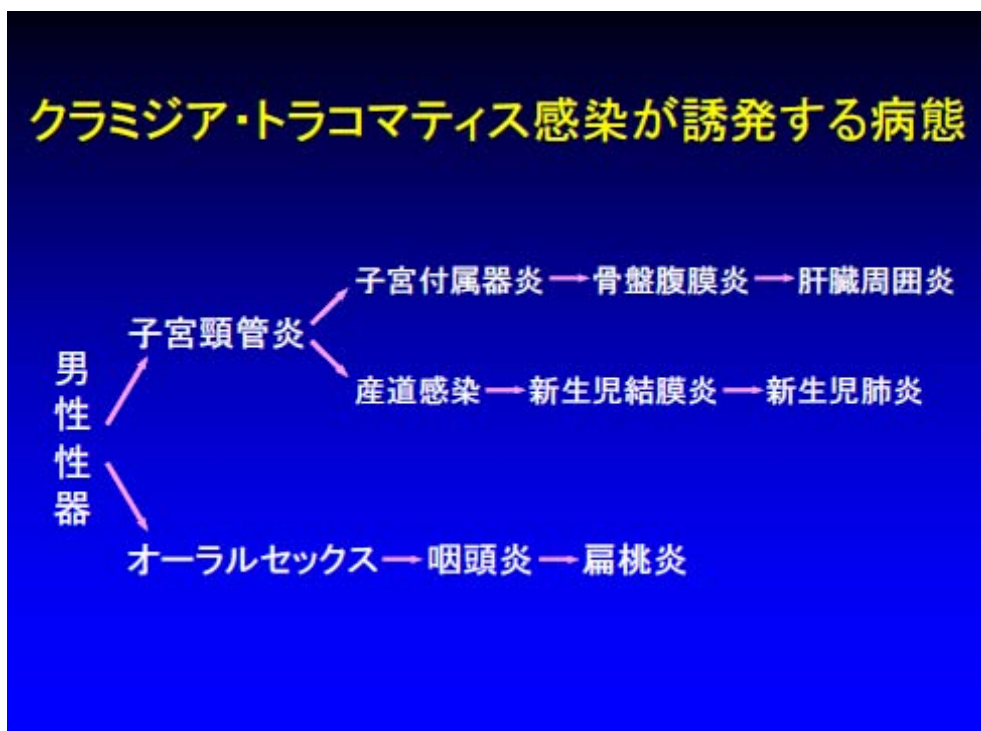


図2

このような致命的でもなく症状も緩やかなこの感染症ではあるが女性にとっては、^{にんよう}妊孕性を損なう（衛研加筆：妊娠する可能性を低くする。）という重大な結果を引き起こすことになるため看過できないものである。

1 定点観測の結果を塗り替えた厚生省研究班全数把握調査

感染症の発生動向調査では、定点調査ということが行われるが、日本のSTDに関する調査でクラミジア・トラコマティス感染症は女性より男性のほうが多いという事実と反する結果が長く報告されてきていた。このことは有識者の間ではすでに問題視されていたことである。このような背景のもとでこの問題点を是正する目的で厚生省（当時）は、性感染症センチネル・サバイランス研究班（班長・熊本悦明）を立ち上げ事実調査を開始した。この結果、図1に示したような女性優位のクラミジア感染実態が明らかになった。この調査はのちの厚生労働省にも受け継がれ5年間にわたり実施され、クラミジア感染の現状が明確になった。

その一部を紹介すると、15歳から24歳までの年齢層では、女性で約86万人、男性で14万人の感染者が存在することが判明した（表1）。このように予想をはるかに超える感染状況が示されたことで従来の定点サバイランスのあり方に問題があることを明らかにすることにもなった。これをうけて厚生労働省は500の定点を900に増やすことを実施したが、今なお、県に

よっては感染実態からかけ離れた報告と言わざるを得ないところも存在しているようである。
 (衛研加筆：県内の定点数は平成 18 年 3 月 10 日現在、名古屋市、中核市を含め 5 1 定点。愛知県での定点報告数等の現状は愛知県感染症情報 平成 18 年第 10 週報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/200610.pdf> をご参照ください。)

特にクラミジアの感染数が女性で少なく報告されている。これは泌尿器科の定点数に比べて産婦人科の定点数が少ないため正しくない数が報告されているものと考えられる。

クラミジア・トラコマティス感染症の流行度(2000年調査)

女性の罹患率

対 象		10万人・年対罹患率
15～19歳	有症状例(検出例) 無症状の潜在例－有症状例の4倍	850.4人 3,401.5人
	推計罹患例(罹患率)	約4,252人 (4.3%, 23.5人に1人)
20～24歳	有症状例(検出例) 無症状の潜在例－有症状例の4倍	1,342.5人 5,370 人
	推計罹患例(罹患率)	6,712.5人 (6.7%, 15人に1人)
全患者数の推計	女性:862,723.5人/男性:142,415.4人/合計約1,005,139人	

熊本 悦明 ほか:日性感染症会誌 12: 32-67, 2001より作成

表 1

2 クラミジア感染症の病態

初感染

クラミジア感染は、性交渉によりセックスパートナーから感染する。女性は性交渉により膣内に排出された精液に混入したクラミジアが感染源となる。膣内に開口する子宮口より子宮頸管に侵入し、さらに上行性に、子宮内に入り卵管を經由して卵管采から腹腔内へ広がっていく。このような時期には、ほとんどの場合、宿主に症状がなく感染の自覚がないため治療の機会がないまま放置されることが多い。

上行性感染が腹腔内へ波及

腹腔内感染-----子宮付属器炎

卵管采から腹腔内へ入ったクラミジアは、その周辺にある卵巣や卵管に子宮付属器炎と呼ばれる炎症を発生させる。この場合宿主が無自覚のまま、卵巣や卵管とその周囲に癒着を発生させ、将来的には卵管性不妊症の原因となる。

骨盤内感染-----骨盤腹膜炎

クラミジアがさらに骨盤内に広がると骨盤腹膜炎が発症し下腹痛や性交痛の原因となる。この場合劇症化するものがあり、そのようなものは救急搬送されるケースもある。

上腹部感染-----急性肝臓周囲炎

クラミジアが骨盤腔内からさらに上腹部に広がり肝臓周囲に感染がおよんだときには、きわめて激しい上腹部痛を発症する。若年女性の急性上腹部痛はほとんどがこのクラミジア感染による急性肝臓周囲炎と考えてよい。多くが救急車で搬送されてくるほど劇症の急性腹症を呈している。

産道感染

新生児結膜炎

妊婦が分娩時にクラミジアに感染していると生まれてくる新生児が子宮頸管を通して娩出されるため、このときクラミジアに感染する。すると生後5～7日後に眼瞼結膜に新生児結膜炎を発症する。

新生児肺炎

分娩後、約2か月ほどして哺乳力の低下とともにカラ咳が出るようになり新生児肺炎が発症する。これがクラミジアの産道感染による新生児肺炎である。マクロライド系抗生剤の投与により治癒させうる。

性器外感染症

近年、淋菌感染症同様クラミジア感染症もオーラルセックスにより咽頭に感染する例がしばしば見られるようになっている。このため、セックスライフの問診を十分に行って、検査の対象となるかどうかの判断が必要になる(表2)。

子宮頸管・咽頭のクラミジア・淋菌検出率		
(n=154)		
	子宮頸管	咽頭
クラミジア陽性	24 (15.6%)	13 (8.4%)
淋菌陽性	5 (3.2%)	21 (13.6%)
クラミジア 淋菌 } 陽性	3 (1.9%)	5 (3.2%)

検出方法:BDプローブテックET CT/GC

厚生労働科学研究「性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究班」
産婦人科領域における無症候性感染のスクリーニング 野口 環之, 2004

表2

3 クラミジア感染症の検査の進歩

1980年代はじめからクラミジアの抗体検査が本邦にも導入され欧米の感染状況と変わらない感染実態が明らかにされたが、その後いくつかの核酸増幅法が登場し検出感度の向上と特異性も高いものが多くなり確実な検査が可能となった。そのために感染実態がより明らかになりつつある。

また近年、男性だけではなく女性においても尿を検体として、検査を可能にした方法も登場したため、検査が行いやすくなり、若年女性の感染を早期に発見し治療を行うためのマスキリーニングへの期待が高まっている。このことがティーンエイジャーの無症候感染者の治療につながり、感染の拡大を防ぐことになると考えられるからである。

4 クラミジア感染症の治療の進歩

クラミジア感染症の治療は、ペニシリン系製剤やセフェム系製剤に感受性がないため、テトラサイクリン系製剤とマクロライド系製剤そしてニューキノロン製剤のうち感受性のあるものを選択して投与することで行われてきた。おおよそ一週間の内服で治癒させることができるものであった。ところが平成16年5月に単回投与で治療効果があるマクロライド系製剤であるアジスロマイシンが子宮頸管炎の治療薬として認可されたため、大変治療が容易になった。すなわち感染が確認された患者はこのアジスロマイシン1000mgを一度に服用すればそれでクラミジア感染の治療がすむことになったわけである。

服用忘れもなく、経済性にも従来の7日間投与に比べはるかに簡便になったといつてよい。

5 性教育に代わる性感染症教育が必要

性教育ということは、古くから行われてきているが、あくまでも教育の一環として行われるため文部科学省の管轄で行われてきた。したがって、どうしても授業の内容に制約があり生殖器の表示や使用する言葉の上でも制限があり十分な表現ができないため支障があった。厚生労働省は、実際の性感染症の蔓延状況を考えて、性教育の必要性を理解しそれなりの努力をしているが、文部科学省との間で考え方に差があるようである。今求められているのは、若年女性の中の性感染症の広がり方から考えれば、性教育ではなく性感染症教育である。

たとえば淋菌感染症やクラミジア感染症が将来の不妊症の原因になることから、その感染予防がいかに大切かを小学生の高学年から教える教育が必要であるという認識を大人が理解し、そのような教育の意味を考える姿勢が望まれるわけである。正しい性感染症教育の実施が急務であると思われる。

愛知県感染症情報

2006年第11週(平成18年3月13日～平成18年3月19日)

愛知県衛生研究所

		定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	9	1,231	45	413	968	361	68	34	98	0	1	4	0	214	1	13	1	0	6	0	0
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	7	992	38	285	618	287	48	30	84	0	0	3	0	195	1	8	1	0	6	0	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	2	239	7	128	350	74	20	4	14		1	1		19		5					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	4	77	3	26	30	15	5	1	2					5							
海部津島	津島	7	7	2	2	1		35		15	54	13		4						8							
尾張中部	師勝	4	4	1	1			25		10	21	2		1	2					2		1					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		38	6	21	42	34	10	3	12					11		3			2		
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	2	257	9	24	52	29	11	1	6					15							
	江南	6	6	1	2			33	2	13	61	19	1	4	7					6							
知多半島	半田	6	6	1	2	1		76	2	39	11	27	8	1	8			2		9							
	知多	7	7	2	2			41	1	25	39	16		2	5					2							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		61	4	24	15	18			10					9		1					
	衣浦東部	13	13	2	4	1	1	67	1	35	69	18	6		10					13							
	西尾	5	5	1	2	1		29	3	9	36	12	1		3					3		2					
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1		52	1	13	43	13	1	2	8			1		17			1		4		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		89	6	12	97	42	2	4	3					53	1	1					
	豊川	9	8	1	2	1		109		16	48	29	3	11	4					39							
東三河北部	新城	2	2			1		3		3										3							

愛知県感染症情報

2006年第1週～第11週(平成18年1月2日～平成18年3月19日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	300	53,410	325	3,365	13,961	3,442	571	267	1,066	3	7	32	6	1,777	9	176	3	4	58	0	0
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	271	42,580	255	2,396	8,999	2,750	378	219	848	2	4	23	6	1,556	6	136	3	4	58	0	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	29	10,830	70	969	4,962	692	193	48	218	1	3	9		221	3	40					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	62	2,323	40	258	453	183	28	6	43			2		65		5			12		
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1	2,157		53	888	140	16		23			1		33		6			3		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			1,138		113	263	45	10	4	22					49		10					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	5	3,106	24	146	666	276	56	16	78	1		2		83		15			11		
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	52	4,472	53	229	654	218	66	11	68			4		264		17	1	3			
	江南	6	6	1	2		21	1,842	26	215	744	156	23	8	88			3	3	94		10					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	8	2,368	7	163	235	192	57	24	85			4	2	39		9	1				
	知多	7	7	2	2		33	2,443	12	190	582	213	16	27	60			1		51		6					
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	9	3,596	18	177	476	227	13	9	94		4			60		1					
	衣浦東部	13	13	2	4	1	21	6,077	25	301	948	257	26	9	73	1				92		13			1		
	西尾	5	5	1	2	1		1,728	3	67	479	147	5	3	39					33	5	12			1		
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	17	4,832	16	140	1,032	182	14	10	76			4		85		16	1	1	20		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	26	3,668	18	155	908	261	23	17	53			2		335	1	5			5		
	豊川	9	8	1	2	1	16	2,460	13	185	670	253	24	75	44			1		267		11			5		
東三河北部	新城	2	2			1		370		4	1		1		2					6							

